

令和8年度 江戸川区立一之江小学校 研究構想図

学校教育目標

進んで学習する子

思いやりのある子

明るく元気な子

【研究主題】

一人も取り残さない『読む力』の指導
～思考力を支える読解力の育成～

【研究仮説】

教科横断的に情報を読み取ったり、解釈して活用したりする言語活動を充実していくことにより、児童がそれぞれの読解力を高めるとともに、自信の考えを根拠をもって主体的に表現することができるであろう。

【目指す児童像】

文章や図、表やグラフなどを正確に読み取り、読み取ったことをもとに自分の考えをもち、豊かに表現・対話できる児童。

算数科・理科	根拠(図、表、グラフなど)をもとに自己表現できる児童
国語科	進んで文章と向き合い、分からない言葉を調べながら文章を正しく読み取れる児童
読書科・社会科	集めた情報を整理・分析して、自分の考えをまとめ・表現することのできる児童

算数科・理科

- ① 自分なりの考えをもつ
- ② 振り返りの工夫

問題に対して、見通しを持たせ、図や表を用いて自分の考えを表現する学習を実施。振り返りを工夫し、自分の考えを客観的に捉えられるようにする。

国語科

- ① 国語科スタンダードの活用
- ② 言葉調べタイムの実施
- ③ 範読の工夫

全学年で「とらえる→深める→まとめる→広げる」という流れで学習を実施。流れを児童と共有することで、見通しをもって学習に取り組めるようにする。

読書科・社会科

- ① 読書通帳の取り組み
- ② よむ YOMU （読書タイム）
○行日記、うそ日記の活用
- ③ 教科書の音読

児童の主体的な読書を促すための環境整備、工夫を行うとともに、読解力を活用して取り組む課題を設定していく。

<研究に関連した全体の取り組み>

- ・朝読書の実施（週3回程度）
- ・読書週間の積極的な活用および、図書委員会のイベント開催